夕刊 臺灣日日新報 (第二版) (昭和十八年八月二十八日 (土曜日) 第一万五千六百二十一號 (一)

臺灣日日新報

(第二版) (昭和十一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十八年八月二十八日 (土曜日)

大陸全土敲ふ鵬翼
荒驚縦横の活躍
在支米空軍を先制攻撃

【CC発福二十六日同盟】在支米空軍機の我飛行場攻撃は三ヶ月半前二回に亘つて行はれ我に多大の損害を与へたが、その後は全く跡を絶つてゐたが、二十四日突如B二四、三十機を以て我飛行場を攻撃したが、我が迎撃戦闘機隊の為に撃墜十一機を失ひ、我が方の損害は僅かに軽微なるものであつた、この日米軍機は我が戦闘機隊の為に撃墜されたものの外、地上に於ても我が方の為に多数の損害を与へられたものと見られる、

【CC発福二十六日同盟】在支米空軍は二十四日の我飛行場攻撃に引続き二十五日も我飛行場を攻撃したが、我が戦闘機隊の為に撃墜十一機を失ひ、我が方の損害は僅かに軽微なるものであつた

殉職市原博士を偲ぶ
技術戰・名譽の戰死
木村兵器行政本部長談

【東京發】今十日陸軍省において發表された陸軍兵器行政本部長陸軍中將木村兵太郎氏の談話は次の如くである

市原博士の逝去は誠に痛惜に堪えない。博士は陸軍兵器行政本部の顧問として、また陸軍航空技術研究所の所長として、我が航空兵器の研究、改良、製作の上に偉大なる功績を遺されたのであるが、特に今次大東亞戰爭勃發以來、その指導の下に研究、製作に當つた幾多の新兵器は、いずれも戰場において赫々たる戰果を擧げ、皇軍の武威を宣揚するに與つて力あつたのである。

博士は學者として、また技術家として、その學識と技術とを以て、國家に貢獻せられたのであるが、その最後の場所が戰場であり、しかも戰場において、敵彈に斃れられたことは、博士の學者として、また技術家としての面目を最も發揮せられたものであり、博士の名譽の戰死として、我々は深く敬意を表するものである。

見事な平素の覺悟
三陸軍將校交々語る

【東京發】陸軍技術本部顧問市原陸軍中將の戰死については、陸軍省においても深く悲しみ、その發表を躊躇していたが、十日午後三時、陸軍省において發表された。

市原博士は、陸軍航空技術研究所長として、また陸軍兵器行政本部の顧問として、陸軍航空兵器の研究、改良、製作の上に偉大なる功績を遺されたのであるが、特に今次大東亞戰爭勃發以來、その指導の下に研究、製作に當つた幾多の新兵器は、いずれも戰場において赫々たる戰果を擧げ、皇軍の武威を宣揚するに與つて力あつたのである。

博士は學者として、また技術家として、その學識と技術とを以て、國家に貢獻せられたのであるが、その最後の場所が戰場であり、しかも戰場において、敵彈に斃れられたことは、博士の學者として、また技術家としての面目を最も發揮せられたものであり、博士の名譽の戰死として、我々は深く敬意を表するものである。

本懷・科學に死す
溫子未亡人健氣に語る

【東京發】陸軍技術本部顧問市原陸軍中將の戰死については、陸軍省においても深く悲しみ、その發表を躊躇していたが、十日午後三時、陸軍省において發表された。

市原博士は、陸軍航空技術研究所長として、また陸軍兵器行政本部の顧問として、陸軍航空兵器の研究、改良、製作の上に偉大なる功績を遺されたのであるが、特に今次大東亞戰爭勃發以來、その指導の下に研究、製作に當つた幾多の新兵器は、いずれも戰場において赫々たる戰果を擧げ、皇軍の武威を宣揚するに與つて力あつたのである。

博士は學者として、また技術家として、その學識と技術とを以て、國家に貢獻せられたのであるが、その最後の場所が戰場であり、しかも戰場において、敵彈に斃れられたことは、博士の學者として、また技術家としての面目を最も發揮せられたものであり、博士の名譽の戰死として、我々は深く敬意を表するものである。

幼少から機械好き
母堂菊江さんに聽く

【東京發】陸軍技術本部顧問市原陸軍中將の戰死については、陸軍省においても深く悲しみ、その發表を躊躇していたが、十日午後三時、陸軍省において發表された。

市原博士は、陸軍航空技術研究所長として、また陸軍兵器行政本部の顧問として、陸軍航空兵器の研究、改良、製作の上に偉大なる功績を遺されたのであるが、特に今次大東亞戰爭勃發以來、その指導の下に研究、製作に當つた幾多の新兵器は、いずれも戰場において赫々たる戰果を擧げ、皇軍の武威を宣揚するに與つて力あつたのである。

博士は學者として、また技術家として、その學識と技術とを以て、國家に貢獻せられたのであるが、その最後の場所が戰場であり、しかも戰場において、敵彈に斃れられたことは、博士の學者として、また技術家としての面目を最も發揮せられたものであり、博士の名譽の戰死として、我々は深く敬意を表するものである。

戰勝は必勝精神から
學徒荒鷲戰場の體驗を語る

【ラバウル○○發二十五日同盟】來る廿五日の陸軍記念日を前に來襲の敵機の一機に體當りを敢行して壯烈な戰死を遂げた陸軍航空隊の學徒出身將校辻村少尉（二十二）の勇戰奮闘ぶりは、ラバウル在留將兵の間に大きな感激を呼んでいるが、辻村少尉は昭和十四年八月陸軍航空隊に入隊、飛行機操縱士として生立つ傍ら、その戰技と精神とを戰場の體驗に培く

辻村少尉　子供の時から飛行機が好きであつた自分は昭和十四年八月陸軍航空隊に入隊、飛行機操縱士としての訓練を受けるとともに、これに專念、同年十二月には伍長に進級、翌十五年三月には軍曹に昇進、本格的な戰技訓練に入つた

谷口少尉　辻村少尉とは同期の入隊で、訓練時代から特に仲よくしてゐたが、辻村少尉は入隊當時から飛行機操縱士として將來を嘱望されてゐた

辻村少尉　訓練時代は、ただ一生懸命に飛行機操縱の技術を體得することに努めてゐたが、昭和十五年十月、ビルマ戰線に參加、ラシオ、ロイコウ、ケントン等の奥地に轉戰、ビルマ戰線の最も苛烈な空戰に參加、敵戰鬪機を撃墜すること數機に及んだ

谷口少尉　辻村少尉とは同期の入隊で、訓練時代から特に仲よくしてゐたが、辻村少尉は入隊當時から飛行機操縱士として將來を嘱望されてゐた

辻村少尉　

臺灣日日新報 第一萬五千六百二十一號 昭和十八年八月二十八日（土曜日） A（一）

石炭增産について御進講を御聽取
松本健次郎氏を召され

【東京發】

天皇陛下には二十七日午後松本健次郎氏を宮中に召され石炭増産について御進講を御聽取あらせられ「石炭増産について」と題する御進講を聽かれた陛下には御熱心に御聽取あらせられ松本氏の御進講は二時間に亘つたが陛下には時折り御質問を發せられ松本氏の説明を御聽取あらせられた

増産に粉骨 松本氏謹話

【東京發】 御進講の榮に浴した松本氏は謹話を發表し「この度の御進講は全く恐懼感激の外なく微力ながら國家の爲に粉骨碎身石炭増産に邁進する覺悟である」と述べてゐる

在支米空軍 ゲリラ戰效なし
徒に買ふ民衆の反感

支那派遣軍報道部發表

【漢口二十七日發同盟】 支那派遣軍報道部發表（二十七日午後）

一、二十三日 久しく支那奥地に於て盛んに策動を續けてゐた米空軍は遂に我が軍の反撃を受けて潰滅的打撃を蒙つた

二、二十三日 久しくわが攻撃を免れてゐた南昌、高安に對し我が航空部隊の大挙攻撃を敢行するところにこれが敢行はわが北支戰線の一角に重大なる影響を與へた

三、二十七日現在に於ける敵米空軍の出動機數は約四百機に上り我が方の損害は僅かに十數機に過ぎなかつた

四、二十四日 二十三日に引續き南昌、高安、豐城、撫州、宜黄、樂安、崇仁、臨川、南城、南豐、廣昌、石城、瑞金、會昌、信豐、大庾、南雄、韶關、英德、清遠、三水、肇慶、梧州、潯州、南寧、龍州、鎭南關、百色、河口、蒙自、昆明、保山、騰越、畹町、芒市、遮放、龍陵、芒友、芒市、畹町、騰越、保山、昆明、蒙自、河口、百色、鎭南關、龍州、南寧、潯州、梧州、肇慶、三水、清遠、英德、韶關、南雄、大庾、信豐、會昌、石城、瑞金、廣昌、南豐、南城、臨川、崇仁、樂安、宜黄、高安、豐城、撫州、南昌の各飛行場を攻撃し敵機多數を撃破炎上せしめ我が方の損害は僅かに十數機に過ぎなかつた

五、二十四日 二十三日に引續き南昌、高安、豐城、撫州、宜黄、樂安、崇仁、臨川、南城、南豐、廣昌、石城、瑞金、會昌、信豐、大庾、南雄、韶關、英德、清遠、三水、肇慶、梧州、潯州、南寧、龍州、鎭南關、百色、河口、蒙自、昆明、保山、騰越、畹町、芒市、遮放、龍陵、芒友、芒市、畹町、騰越、保山、昆明、蒙自、河口、百色、鎭南關、龍州、南寧、潯州、梧州、肇慶、三水、清遠、英德、韶關、南雄、大庾、信豐、會昌、石城、瑞金、廣昌、南豐、南城、臨川、崇仁、樂安、宜黄、高安、豐城、撫州、南昌の各飛行場を攻撃し敵機多數を撃破炎上せしめた

以上のごとく連日に亘るわが攻撃に對し敵は全く戰意を喪失し我が方の損害は僅かに十數機に過ぎなかつた

敵、常套の損害小出し發表

【漢口二十七日發同盟】 三十二日午後米空軍の南昌、高安に對する攻撃に關しワシントン米軍當局發表P四〇、十數機を撃墜したと發表したが實際は二十三日南昌、高安に對する攻撃に於ける我が方の撃墜數は二十機に過ぎず敵は常套の手段として損害を小出しに發表したものである

佛解放委員會を米英條件付承認

【ワニスフイレス二十六日發同盟】 三十二日ワシントン來電ロンドン來電を綜合すれば二十二日ルーズベルト大統領は「共助協定及び英國の佛國解放委員會に對する態度」に關し記者會見を行ひ大要次の如く發表した

一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではない

二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが英國の佛國解放委員會に對する態度は米國の夫れと同一である

三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

二十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

三十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

五十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

六十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

七十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

八十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十一、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十二、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十三、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十四、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十五、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十六、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十七、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十八、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

九十九、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

百、佛國解放委員會は佛國人民の自由意志の表現ではないが米國は佛國人民の自由意志の表現を待つ

四機を撃墜判明
廣東來襲の敵米機中

【廣東二十七日發同盟】 廣東(二十七日午後)

一、二十七日午前 敵P四〇、四機廣州灣上空に來襲したるも我が戰闘機は敵をそれと知るや直ちに邀撃戰闘に入り敵P四〇、四機を撃墜せり

怖氣づく米國機 ○○部隊長語る

【○○發電】 二十七日○○發同盟】 敵米空軍の我が北支に於ける航空基地に對する攻撃は我が○○部隊の活躍により潰滅的打撃を蒙つたが敵は更に我が航空基地を攻撃せんとし二十六日P四〇、四機を以て南昌、高安に來襲したが我が○○部隊はこれを迎撃し敵機四機を撃墜した

敵は更に二十七日P四〇、十數機を以て南昌方面に來襲したが我が○○部隊はこれを迎撃し敵機四機を撃墜した

敵は二十七日午後P四〇、四機を以て南昌

口頭質疑と適性に重點

工業計畫即應の施策

東南亞軍司令部の設置說

ケベツグ參謀の中心問題は今後の對日反攻作戰にある印度に設けられるところであつて、ケベツグ參謀はルーズベルト、チヤーチル兩首相に對し印度方面作戰の重要性を强調したり作戰の實施に關する意見を述べたりしたものであるがその目標は單に印度を防衛するに止まらず印度を基地として緬甸を經由支那に對する陸上補給路を開くことにあるものと觀測されてゐる

要は人にある

最後に重要なことは、今後增加する生産の效果的發揮如何を問題とし、現在の生産力の擴充のみを以て滿足すべきでないことである。現在生産力の擴充に關しては、あらゆる方面から强力な施策が講ぜられてゐるが、これが效果的發揮如何は、ひとへにこの方面の指導者の人物如何にかかつてゐるといつても過言ではない。

「割增金附定期預金」

蓄府當局で目下檢討中

國民貯蓄增强の必要に鑑み、政府當局に於ては、現在の貯蓄機關を通じ、新たに割增金附定期預金の制度を設けることを目下檢討中であるが、これは一定期間預金を續けた者に對し、その預金額に應じ割增金を交付するもので、これによつて國民貯蓄の增强を圖らんとするものである。

石炭增産期間　實施を協議

【大阪發】石炭增産期間實施に關する協議會は、大阪府、兵庫縣、和歌山縣、奈良縣、京都府、滋賀縣、三重縣の各石炭配給統制會社、關係業者代表參集の上、大阪府廳で開かれ、增産期間實施の具體的方策を協議した。

鹽千魚配給會社　九月上旬より事業開始

鹽千魚の配給は從來各地區の漁業組合が行つてゐたが、これを統一的に配給するため、今般新たに鹽千魚配給會社が設立されることになつた。

二倍貯蓄

二倍貯蓄とは、今後十年間に大體現在貯蓄額の二倍を貯蓄しようといふ運動である。

增資を可決す

南日本汽船總會

南日本汽船會社では二十六日午前十二時より會社の會議室において臨時總會を開き、增資の件を可決した。

協定價格設定　著名の資源百九十六種目に

【大阪發】經濟統制會社令第十一條の二第一項の規定に基き、ノーソン、水晶、ホーミ鑛の全部、ニツケル鑛の一部、マンガン鑛の一部、タングステン鑛の一部、アンチモン鑛の一部、ビスマス鑛の一部、ウラン鑛の一部、ラジウム鑛の一部、ベリリウム鑛の一部、ジルコン鑛の一部、トリウム鑛の一部、セレン鑛の一部、タンタル鑛の一部、ゲルマニウム鑛の一部、ハフニウム鑛の一部、ルテニウム鑛の一部、ロジウム鑛の一部、パラジウム鑛の一部、オスミウム鑛の一部、イリジウム鑛の一部、プラチナ

正史編修を奏上

大御心に岡部文相恐懼

文部大臣謹話

【東京發】岡部文相は二十七日午後四時半宮中に伺候、天皇陛下に謁を賜はり左の如き謹話を奏上した

天皇陛下に謹んで申上げます、今日は正史編修に關する重要事項に關し御下問を賜はりまして誠に恐懼に堪へません、正史編修に關しましては、從來文部省に於きましても、これが重要性に鑑みまして、これが實現に關しまして、種々研究を重ねて參りましたのでありまして、昨年十月には、正史編修に關する調査會官制の御裁可を得まして、調査會を設置いたし

皇軍の偉大さに驚嘆

山の古老 平地見學感想談

【高雄特電】高雄州下各地の皆年兵の歡迎を終始熱烈裡に行ひ來つたが、二十七日午前九時から高雄驛前廣場に於て高雄州下各地の皆年兵の歡迎を兼ねて高雄州下各地の皆年兵の歡迎を兼ねて高雄州下各地の皆年兵の歡迎を兼ねて